

小松崎 ふみよし

政策ジャーナル Journal



THE 2015 ISSUE OF KOMATSUZAKI FUMIYOSHI

千葉市議会議員選挙が行われ、6,813票を獲得し、3期目の当選をトップで果たすことができました。この票はお預かりしたものであり、政策の実現を通してお返しして参る所存です。今般、議会運営委員長・自由民主党千葉市議会議員団の幹事長に就任致しました、職責を通し政策の実現に邁進して参ります。

行動派 宣言！！

千葉市が指定廃棄物の処分場候補地となった事について

Vol.64

統一地方選挙の事後処理も終わらない、5日後の本年4月17日に突然「環境省が、東電福島第一原子力発電所の事故により発生し、県内で保管されている指定廃棄物の処分場候補地に千葉市中央区にある東電敷地内の同社用地を選定したその事が関係者への取材で判明。同省は近く、県市に正式に伝える。候補地は最も近い市街地まで2km以上離れており、水源地も近くにない点が選定理由とみられる。」との報道がなされました。これだけ重要な事案は本来、選挙前に諮るべきと考えます。唐突な発表により、内容の是非以前に不信感を拭う事は困難となる。内容としても、東京湾沿岸部では仮に安全でも風評被害が懸念されます。千葉市では千葉港の充実、海辺の有効活用、水産物のブランド化等を進めており、今まで使った予算が無駄になり、近隣市の水産業に与える影響も甚大となる。安全であるというならば排出量の多い地域、若しくは排出地で分担し埋設すべき、と考えます。一方危険性が有るのならば人口密度の高い千葉市での埋設は困難です。

つきましては裏面において、任期中に取り上げるべき政策も含めて指定廃棄物についてご意見を賜りたく、アンケートにご協力戴ければ幸いです。尚、市長は態度を明らかにせず中立を守っていた為、市長に先んじて6月4の議会初日に、議会運営委員長としてそれぞれの排出自治体内での保管を行うための再協議を強く求める決議を推進し、採択致しました。

5月20日（水）・6月2日（火）環境省の議会への説明会について

環境省の方針

- ・ 県内の指定廃棄物のみを処理します。
- ・ 周辺環境への影響を防ぎます。
- ・ 災害や事故に備え、維持管理を継続します。
- ・ 廃棄物を安全に運搬します。



両説明会での疑問点

- ・ 候補地除外基準に洪水等があるのに、埋立地の液状化の懸念が全く考慮されていない。（千葉市は市町村での会議で候補地から埋立地を除外する様に何度も要望するも採用されず。）
- ・ 水産物・農産物・地価の風評被害による損害についての対策が不十分。 5億円程度の対策費では政令市千葉市としては地価下落分にもならない。オリンピックが幕張で開催予定だが、外国人は日本人より放射線に対して過敏であり、仮にボイコットする国や地域があれば国益も失う。
- ・ 民主党政権野田内閣の平成23年に閣議決定で集中管理としたが、運搬・積み込み時の密封性が低く、住民の生活圏内を避けることはできない。運搬車両が途中でテロの被害にあったり、事故を起こした場合のリスク管理も不十分。子育て世代に大きな打撃となる。
- ・ 千葉市では全てが10,000ベクレル以下、約3600tのうち約7tだけ。一方東葛地区の指定廃棄物は放射線量が高い。環境省説明の通り 安全な施設であれば約7割の排出地である東葛地区で管理すべきであり、危険ならば千葉市で受け入れることは出来ない。 受け入れなら千葉市排出の7t（現在は4年が経過しており、ほとんどが8,000ベクレル以下）のみ。

8,000ベクレル以下になる年数	
約10,000ベクレル	2年
約30,000ベクレル	28年
約50,000ベクレル	50年

※選挙のお礼状は公職選挙法で禁止されておりますので、ご報告を以って代えさせていただきます。

* アンケート *

県内各自治体には、2013年末現在で指定廃棄物3612tが一時保管されており、本市も7.7tを保管しています。そこで、アンケート調査をすることといたしました。市にとって重要な施策であり、将来にわたり次世代にも関係があることから、是非ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

問1 指定廃棄物の処分場候補地に選定された事について(番号に○を付けて下さい。)

1. 選定されたことは知っていた。
2. 指定廃棄物を県内1市で保管する事も知っていた。
3. 表面に書いてある事はほとんど理解している。
4. 全く知らなかった。

問2 仮に正式に指定廃棄物の処分場に千葉市がなった場合について(番号に○を付けて下さい。)

1. 賛成する。
2. 千葉市だけの分なら賛成する。
3. 反対する。
4. その他。(

)



問3 問2で答えた理由をお書き下さい。(詳細はご自由にご記入下さい。)

問4 その他、どの項目に関心がありますか。(番号に○を付け、詳細はご自由にご記入下さい。)

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. 交通アクセスの向上 | 5. 財政の強化 |
| 2. 安全・安心な暮らし | 6. 医療・福祉の向上 |
| 3. 子育て支援 | 7. 教育改革 |
| 4. 行政サービスの向上 | 8. その他 |



※下記事務所までFAX、もしくはご郵送下さい。(記名欄は匿名でも結構です。)

お名前

ご住所

電話番号

小松崎ふみよし・プロフィール

事務所

昭和45年(1970)4月30日生まれ
稲毛幼稚園卒業(現在、評議員)
千葉市立山王小学校卒業
千葉市立犢橋中学校卒業
千葉県立千葉北高等学校卒業
(現在 同窓会副会長)
法政大学法学部法律学科卒業
(現在、校友会千葉中央支部常任幹事)

職歴
衆議院議員うすい日出男秘書10年
公設第一秘書、事務所責任者を歴任
総務・教育未来・都市建設委員長を歴任
千葉市議会議員(稲毛区選出)3期当選
(6,813票でトップ当選)
自民党千葉市連青年局長を歴任

千葉市第37地区町内自治会連絡協議
会顧問(山王中学校区)
千葉市少年軟式野球連盟顧問
稲毛区少年軟式野球連盟顧問
千葉市アーチェリー協会会長
千葉県美容業生活衛生同業組合
(千葉支部顧問)

〒263-0002 千葉市稲毛区山王町112-1
電話: 043-424-0001 FAX: 043-421-6667
E-mail: fumiyo@joy.hi-ho.ne.jp
事務所開設時間【水】 10:00-12:00
13:00-16:00



(不在時は小松崎本人の携帯に転送されます)
お問い合わせ・ご意見お待ちしております。